

商業部会長報告

会議名 第1回商業部会（オープン部会）

日時 2021年4月20日（火）10:00～11:30

場所 秋田商工会議所 7階 ホール80

出席者 部会員等39名

内容 情報提供 テーマ 「秋田市総合都市計画（原案）について」
ゲスト 秋田市都市計画課 課長 藤田 順洋 氏

協 議 (1) 2021年度部会活動計画（案）について

報 告 (1) 秋田市商品券発行事業について
(2) 秋田商工会議所パソコン教室について
(3) 宅配テイクアウト応援強化キャンペーンについて
(4) 国の支援策について
(5) 業務概要報告
(6) その他（秋田市の中小企業支援策について）

1 対象区域・目標年次

- ① **対象区域：秋田市全域**
- ② **目標年次：20年後の2040年とし、具体の整備は10年後の2030年とする**

2 まちづくりの主な課題

- ① **都市の現状と課題を整理**
 - ・ 中心市街地や各地域の中心部における人口密度の維持
 - ・ 都市機能の誘導や都市のスポンジ化への対応（空地・空家等）
- ② **まちづくりに対する市民意識を調査（3,000人に以下項目をアンケート）**
 - ・ まちづくりを進める上で重要な事項
 - ・ 総合都市計画見直しの重点テーマ
- ③ **第6次秋田市総合都市計画を評価（取組実績を確認し次期計画に反映）**
 - ・ 多核集約型コンパクトシティの推進
 - ・ 地域特性をいかしたまちづくり

3 まちづくりの基本理念

「暮らしの豊かさを次世代につむぐ持続可能な活力ある都市」

- ・人口減少下にあっても市民の暮らしを守り、居住や生活サービス施設等の都市機能を誘導し、それらを公共交通や道路網でつなぐ多核集約型コンパクトシティの形成を進め、持続可能な都市を目指す。

4 まちづくりの目標

- ①市民生活を支える持続可能な多核集約型コンパクトシティの形成
- ②環境の保全・創造による低炭素型まちづくり
- ③多様な資源をいかした緑豊かな都市環境の形成
- ④安全・安心な暮らしを守る生活環境の形成

5 将来都市構造

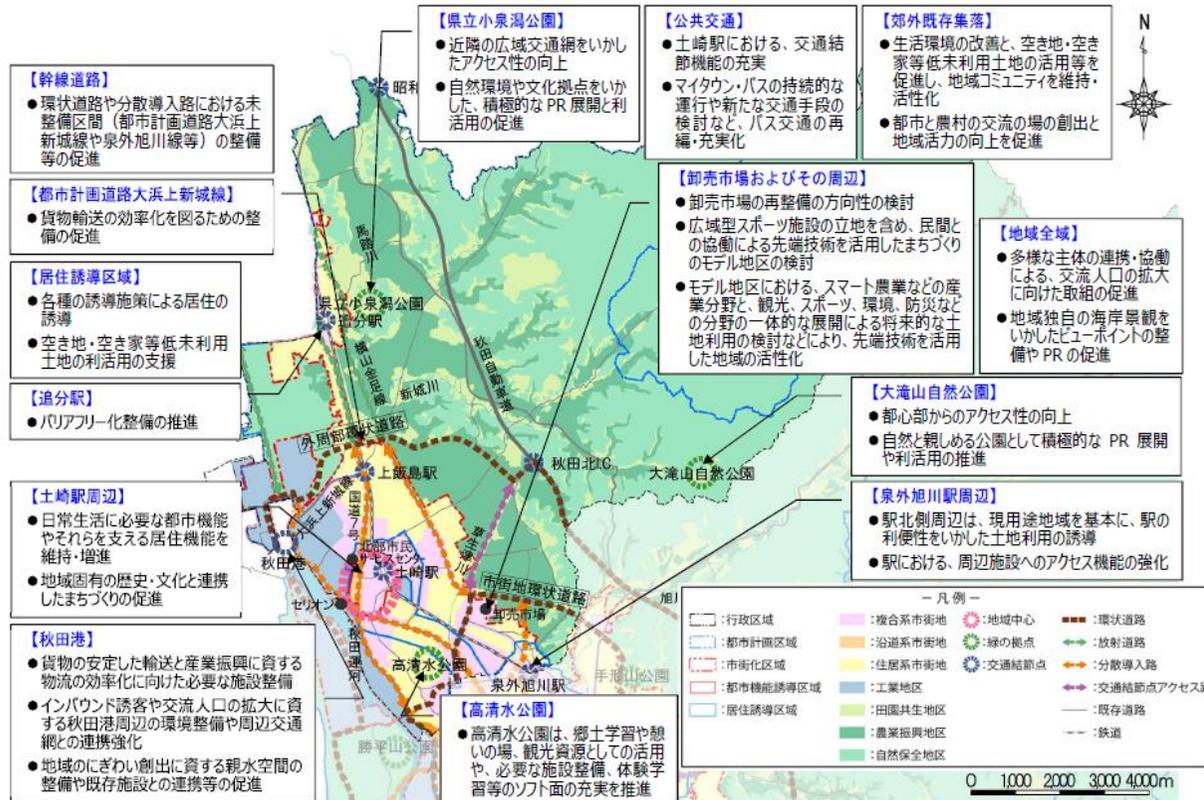
面的な土地利用を誘導する「ゾーン」、各地域の中心となる「都心・中心市街地」「地域中心」、骨格的な構造を形成する「道路網」で構成し、これらによって多核集約型の都市構造を形成する。

6

全体構想・地域別構想の設定

- 全体構想**：将来都市像の実現に向け、「土地利用」「交通体系の整備」「住環境・市街地整備」「水と緑の整備・保全」「景観形成」「供給・処理施設等の整備」の6分野における取組方針を設定する。
- 地域別構想**：全体構想に基づき、市内7地域（中央・北部・南部・東部・西部・河辺・雄和）のまちづくりの方向性を示す。

【地域別構造図の例：北部地域】



◎ **パブリックコメント**（意見公募）

募集期間：2020年4月15日（木）～
2020年5月10日（月）

提出先：秋田市都市計画課

公募URL：
<https://www.city.akita.lg.jp/shisei/machizukuri/1011485/1007503/1023822/1028560.html>
(秋田市HP内)

部会員の主な意見（Q：部会員 A：秋田市回答）

Q. 記載内容が抽象的なため具体的な都市像をイメージできない。

地域内の商業面積や売上統計を示し、それが増加しているのか減少しているのか、適正なのか過剰・不足しているのか等を示すことで、商業者はその地域への進出・出店手法を検討できる。

秋田を活用し活性化させたいと思っている人にとって有益な情報を記載することで地域経済の活性化等に繋がる。

A. 総合都市計画の作成にあたり、様々な客観的指標を参考としている。秋田市において、居住用区域に様々な商業サービスを集積し運営可能な人口密度は50人/ha程度となっている。

現在の秋田市の居住用区域の人口密度は50数人/haであることから、区域内の人口密度を維持し、必要な商業サービス機能を保つことが、人口減少対策のために必要な観点だと考える。

今後のまちづくりについて、地域の課題解決策を見出していくエリアマネジメントの取組が重要になる。地域ごとのルールを決める地区計画という制度があるので、本制度を活用しながら、まちづくりを具体的に進めていきたい。

Q. 近隣県の県庁所在地、中核市と差別化し競争するという視点が、総合都市計画に見受けられない。

A. 都市計画は「暮らしを守る」という守備的な意味合いが強く、攻めの施策になり難い。

中核市は全国に58箇所あるが、人口密度で見ると秋田市は下から5番目であり、薄く広がった市街地を形成してしまっている。本市としては「多核集約型のコンパクトシティの形成」を目指し、持続可能な市街地の形成を実現したい。